

2020 vol. 24

# こころの未来

KOKORO RESEARCH CENTER  
KYOTO UNIVERSITY

特集  
生命のひろがり





## ごあいさつ

今号は、新型コロナウイルスによるパンデミックを意識したものであるけれども、それをもう少し広い視点から考えてみようということで、それを逆にポジティブに表現したような「生命のひろがり」を特集テーマとした。確かにウイルスは恐ろしいし、やっかいなものであるけれども、それを一方的に悪とみなし、打ち倒そうという考え方にも違和感を覚える。人類の感染症との歴史を振り返ってみても、感染症が思いもかけない役割を果たし、歴史を動かしてきたことがわかる。その意味で、福岡伸一氏による巻頭言は、まさに進化を共生と利他性から捉えていて興味深い。広井良典の論考における、情報の後に「生命」の時代が来るという考え方は、心理学的に言うところ「じん」や「物語」ということができるのではと思われるのである。今の危機に耐えつつも、そこから学んでいき、新しい展開に生かしていければと思う。

2020年12月

京都大学こころの未来研究センター長 河合俊雄

こころの未来  
KOKORO RESEARCH CENTER  
KYOTO UNIVERSITY

2020 vol.

24

目次

ごあいさつ	河合俊雄
01 巻頭言 生命のひろがり	福岡伸一
〈特集 生命のひろがり〉	
02 「ポスト情報化」と「生命」の時代	広井良典
論考・インタビュー	
04 新興感染症とこころ	古瀬祐気
08 「フィールドミュージアム」構想——自然と文化の多様性を守り楽しむ	幸島司郎
12 小林傳司大阪大学名誉教授インタビュー トランス・サイエンスをめぐる展望——コロナ・パンデミックを踏まえて	小林傳司+広井良典
21 コロナ! 人狼探しはもうやめよう——科学・医学の不確実性から考える	辻内琢也
26 生命と芸術	吉岡洋+大久保美紀
31 菱山豊科学技術・学術政策研究所所長インタビュー 生命と社会、政策について考える	菱山豊+広井良典
38 2019年度仕事一覧	
47 センターの主な動向(2019年10月~2020年3月)	
編集後記	

---

## 編集後記

「生命」というテーマにはずっと関心を持ち続けてきたが、ある時期から、「生命」と「非生命」の間には究極的な境界はなく、岩とか風とかも同様と考えるようになった。「人間-生命-非生命-非存在」を統合的にとらえる視点にひかれている。(広井良典)

コロナの状況が続く中で「生命」という大きなテーマをとりあげたことは、とても意義深いと思います。(吉岡 洋)

これほどまでに生命の「つながりとひろがり」が可視化されたことはあつたらうか。目には見えないウイルスが生命体から生命体へと、人の動きにより拡散されていく。生命というレンズから、あらためて人の行動制御の難しさやこころの複雑さについて考える。(内田由紀子)

本号は「生命」という大きく複雑なテーマゆえか、巻頭言はじめ、論考もインタビューもその起爆力は半端なものではなく、まさに学問の醍醐味を感じました。(原 章)

---

発行日 ..... 2020年12月25日

発行 ..... 京都大学こころの未来研究センター  
〒606-8501  
京都市左京区吉田下阿達町46 京都大学稲盛財団記念館内  
電話 075-753-9670 FAX 075-753-9680  
<http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/>

編集委員 ..... 広井良典+吉岡 洋+内田由紀子

表紙写真 ..... 「青い葉の背景」©Rudchenko Lillia/shutterstock.com

編集・制作 ..... 編集工房レイヴン 原 章

デザイン ..... 鶯草デザイン事務所 尾崎閑也+東 浩美

印刷 ..... 株式会社 NPC コーポレーション

---





京都大学 KOKORO RESEARCH CENTER • KYOTO UNIVERSITY

こころの未来研究センター